

◆心の健康づくり

今年度から3カ年にわたって実施する「心の健康づくり・自殺予防対策三十二年計画」につき、

平成1年度にかけ市各会計決算を認定
一般会計の歳入歳出は次の表のとおりです。

各特別会計の歳入歳出は次の表のとおりです。

「精神障害対策第モテル事業」についてですが、今年度は精神科医と心理判定員による相談窓口の開設、講演会、ネットワーク会議などを開催していますが、10月には秋田大学医学部の協力を得て「心の健康づくりアンケート調査」を実施します。

市内に住む30歳から79歳までの方全員を対象として、心の状態を把握し、事業を効果的に進めるための基礎調査となるものであります。

◆長年にわたる寄付

TDK株式会社の大野亮一監査役より、フェライト子ども科学館の運営費用として、平成16年7月から19年6月までの36ヶ月にわたって毎月60万円のご寄付をいただいてきたところですが、引き続き、19年7月から1カ年、毎月75万円のご寄付の申し出をいただきました。

申し出をありがたくちようだいし、子どもたちが科学に親しみ、豊かな創造性と科学する心を育むために使用させていただきます。

項目	決算額(円)	率(%)
議会費	135,125,934	1.0
総務費	2,172,952,457	15.8
民生費	2,888,447,744	21.0
衛生費	709,189,582	5.2
労働費	12,073,617	0.1
農林水産費	891,410,578	6.5
商工費	306,837,171	2.2
土木費	978,139,688	7.1
消防費	628,498,745	4.6
教育費	2,795,783,521	20.4
災害復旧費	53,312	0.0
公債費	2,212,437,434	16.1
合計	13,730,949,783	100.0

【感入】

項目	決算額(円)	率(%)
市 稅	3,049,112,647	21.6
地方譲与税等	1,037,138,897	7.3
地方交付税	4,333,224,000	30.6
国庫支出金	1,006,800,024	7.1
県 支 出 金	863,022,444	6.1
市 債	2,015,600,000	14.3
そ の 他	1,841,992,200	13.0
合 計	14,146,890,212	100.0

歳入歳出差引残額
415,940,429円

(監查委員審查意見)

自主財源の乏しい財政状況の中で、多様化・高度化する市民ニーズを的確に捉え、将来に禍根を残さないよう、今一度合併時の「基本理念」に立ち返り、市民サービスの向上、行財政改革の促進、効果的・効率的な諸施策の実行に、よりいつそう努力されることを切に望むものであります。

害時等における相互協力に関する協定に基づく、応急対策要請を受けたにかほ市建設業協会の迅速な対応などにより、幸いにも人的被害はなく被害は最小限に抑えられたものと思われます。被害に遭われた市民の皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

大雨が去つた後も、特に被害の大きかった集落には課長級以上の職員を責任者とする支援チームを編成し、集落ごとに担当を配置して応急対策にあたりました。他の集落や町内会に対しては、会長を通じて被害状況のとりまとめを行い、市内の被害状況の全容の把握に努めました。

りを記録。気象台象潟測所では53ミリでした。



までの1時間では4・5ミリを記録し、総雨量は107ミリに達しました。このため、仁賀保地域の鉛集落（平沢字前谷地、深谷地）をはじめとして、主に海岸部を中心に市内各地で住宅への浸水や道路の冠水、道路の土砂崩れによる通行止めや農作物への冠水、浸水による被害も発生しました。



豪雨災害被害状況報告

8月21・22日発生

8月21日午前6時頃から強くなつてきた雨は、アメダスの観測地点となつてゐる象潟観測所（象潟町琴和喜）では、7時から8時までの1時間に25ミリを記録し、気象台から大雨洪水警報が発表されました。その後も雨は強さを増し、9時から10時

このため、象潟地域では、奈
曾川、清水川、赤石川が、仁賀
保地域では冷渡川、大湯川、天
拝川、前見川などの河川が増水
し、護岸の決壊や氾濫による住
宅への浸水、農作物の冠水、浸
水、農地や農業用施設の決壊、
道路の土砂崩れなどの被害が多
発し、5世帯14名が一時的に近
くの公民館や親類の家などに自

市では、8月22日10時30分に

各地から被害状況が入り始めた
13時30分には「災害対策本部」
に切り替え、情報収集や応急対
策を講じました。応急対策には、
ことし4月19日に締結した「災

9月21日現在の被害状況は
次のページのとおりです。

